

【平成18年度入学式】

決意を込めて第一歩 日本武道館で入学式

桜舞う4月5日、平成18年度入学式が東京・千代田区の日本武道館で行われた。あいにくの雨模様となったが、6学部4711人と大学院5研究科157人、法科大学院63人のあわせて4931人が大学生活の第一歩を踏み出した。

日高義博学長は式辞で「本学で人生の羅針盤を見だし、大きく変身することを期待する」と激励。出牛正芳理事長の祝辞のあと新生を代表して桑原豊さん(経済学部、専大松戸高)が「伝統ある専修大学で、心身の育成に励みます」と力強く宣誓した。



新生を代表して桑原豊さんが宣誓

式典後の歓迎プログラムでは、育友会の受川純一郎会長が同会の活動を紹介。専修大学フィルハーモニー管弦楽団の祝賀演奏とグリークラブの男声合唱のあと、ラテンボーカリストのやまもときょうこさん(平3商)が「アメージンググレイス」「上を向いて歩こう」、自作の「Kagayaki」を披露。のびやかな歌声が会場を包み、バックを「Dance Team MISAKI」のはつらつとしたダンスが彩った。午後からは、ご父母向けのガイダンスが神田キャンパスで開催された。

前日4日には、初のご父母対象の生田キャンパス見学会が開かれ、新生を含む711人が参加した。

図書館神田分館と日大法学部図書館

図書館の相互利用を促進

図書館神田分館は、日本大学法学部図書館との利用者サービスの向上や図書資料の充実を目指し、4月1日から実施される相互協力の覚書を取り交わした。

3月28日、日大法学部図書館で、本学の大庭健図書館長と佐々木有司日大法学部図書館長が締結式に臨んだ。

本学図書館が他大学と覚書を取り交わし相互協力をするのは初めて。利用対象は、当面は法学部教員と大学院法学研究科生のみだが、将来的には対象者の範囲を広げたい考えをもっている。

大庭館長は「神田の分館は、蔵書スペースとサービススペース、そのどちらに関しても、もはや図書館としての機能を果たしていない。今回の協定が、そうした欠損を少しでも補ってくれれば、と願っている。本当は、神田で開講している他の研究科の院生をも対象にしたかったのだが、日本大学側は法学部の図書館ということで今回は実現できなかった」と話している。



相互協力の覚書を交わす大庭健図書館長(右)と
佐々木有司日大法学部図書館長

大学の取り組みを横断幕でPR — 小田急線脇 ローラーホッケー場に

09年の創立130年に向けて、大学の取り組みを積極的に社会に発信するために、最寄り駅の小田急線向ヶ丘遊園駅と生田駅間にある、ローラーホッケー場フェンスが、横断幕掲出スペースとなった=写真。

今までもオープンキャンパスや鳳祭の予告、箱根駅伝出場などの掲出は行っていたが、今後は現在検討されている、創立130年記念事業などの大学情報も掲出していく予定。

